

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

項目番号	カテゴリ	チェック項目	環境・社会・経済分野の区分			取組レベル	取組事項に○をつけてください	【非該当】の場合選択入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール）関連項目																
			環境	社会	経済					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																										
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別・年齢・障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している		○		基本（必須）	○		採用・配置・評価において、性別・年齢・障がい・国籍等による不当な差別を行わない方針を就業規則や社内周知で確認し、相談窓口を設けている。								●			●					●	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備し、ハラスメントがないことを確認している		○		基本（必須）	○		ハラスメント防止方針を社内に周知し、相談窓口を設置している。管理職・社員向けの注意喚起や教育を行い、早期に相談できる体制としている。								●							●		
3		【ワーク・ライフ・バランス】 ・過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワーク・ライフ・バランスを推進している		○		基本（必須）	○		勤怠管理により長時間労働を把握し、業務分担・工程調整により過度な残業を抑制している。有給休暇取得を促進し、家庭と仕事の両立を支援している。								●									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認するとともに、日本語教育の充実や地域住民との交流促進など、受入環境整備に取り組んでいる		○		基本（必須）		○	現在、外国人労働者の在籍がないため非該当。																	
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる		○		基本（必須）	○		安全衛生協力会・安全大会・安全朝礼・KY活動・現場パトロールを通じ、事故防止と安全意識向上に取り組んでいる。熱中症対策や保護具着用も徹底している。				●					●								
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる		○		基本（必須）	○		上司・総務部へ相談しやすい体制を整え、過重労働や人間関係の不安を早期に把握している。必要に応じて面談や業務調整を行っている。				●													
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる		○		基本（必須）	○		本人の経験・適性に応じて活躍できるよう、資格取得支援や社内教育、健康診断の実施、育児休業を取得しやすい職場環境づくりに取り組んでいる。					●				●								
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している		○		基本（必須）	○		資格取得支援、外部講習、社内教育、OJTを通じて、施工管理・安全管理・住宅営業・総務など各職種の能力向上を支援している。					●	●			●		●						
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している		○		基本（必須）	○		雇用形態にかかわらず、業務内容・責任・経験に応じた賃金・手当・評価となるよう確認している。給与や手当、福利厚生等についても、同一労働同一賃金の考え方に沿って、不合理な待遇差が生じないよう努めている。									●			●					
10		【就業制度の改善】 ・子育てなど一人ひとりのライフスタイルに合わせた就業制度の導入、ワークライフバランスの実現に取り組んでいる		○		基本（必須）	○		子育て・介護・家庭事情に配慮した休暇制度を整備している。	●			●					●			●					●
11	環境	【男性育休の取得推進】 ・男性の育児休業が取得しやすい職場環境づくりに努め、子育てと仕事の両立に積極的に取り組めるよう、有給休暇制度等を設けている		○		基本（必須）	○		男性社員が育児休業や有給休暇を取得しやすいよう、制度周知と業務引継ぎの支援を行っている。取得事例を社内ですべて共有している。				●		●			●		●						
12		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる		○		チャレンジ（任意）	○		定期健康診断の受診と人間ドックの補助制度、再検査の呼びかけ、熱中症・感染症対策、体調不良時の早期申告を促し、従業員の健康保持に取り組んでいる。にいがた健康経営推進企業に登録している。				●					●								
13		【生活困窮者の雇用・生活支援】 ・ひとり親、就職氷河期の非正規雇用者、失職者など生活困窮者の採用、生活環境改善の支援、職能・人材育成に積極的に取り組んでいる		○		チャレンジ（任意）				●	●		●					●		●	●				●	
14		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		建設副産物・廃材・残土等について、法令に基づき分別・保管・ manifests 管理を行い、許可業者による適正処理を徹底している。											●	●		●			
15		【エネルギーの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	○			基本（必須）	○		電気・燃料・水道等の使用状況を把握し、事務所・現場での省エネ、車両燃料の効率利用、不要な電力使用の削減に取り組んでいる。							●						●				
16		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、CO2の削減など排出の抑制に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		社用車・重機の燃料使用、事務所電力使用の削減に努め、アイドリングストップ、効率的な配車、不要照明の消灯、空調温度管理を行っている。								●			●	●					
17		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		塗料・接着剤・薬品等の使用時はSDSを確認し、適切な保管・使用・廃棄を徹底している。有害物質の使用量は必要最小限に抑えている。				●			●				●	●					

項目 番号	カテ ゴリ	チェック項目	環境・社会・経済 分野の区分			取組 レベル	取組事項に ○をつけて ください	【非該当】の 場合 選択入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール） 関連項目																
			環境	社会	経済					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																										
18	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	○			基本 （必須）	○		圃場整備工事等において、カエル等の小動物の保護・移動を行うなど、工事による生態系への影響低減に努めている。また、濁水や廃棄物の適正管理を行い、周辺環境に配慮した施工に取り組んでいる。							●						●	●			
19		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	○			基本 （必須）	○		現場・事務所で廃材や資材の分別、再利用、紙使用量の削減に取り組んでいる。リサイクル可能な建設副産物は適正に再資源化している。									●		●						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・自家消費型再生可能エネルギーの利用に取り組むとともに、省エネの促進に取り組んでいる	○		○	基本 （必須）	○		住宅部門では、断熱性能を重視した住宅提案や省エネにつながる設備提案を行っている。事務所・現場では不要照明の消灯、空調温度管理、アイドリングストップ等の省エネを実施している。						●				●							
21		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	○			チャレンジ （任意）	○		現場での濁水流出防止、節水、仮設水道の管理を徹底し、事務所においても水使用量の削減に努めている。						●											
22		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	○			チャレンジ （任意）							●			●				●	●	●	●			
23		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	○			チャレンジ （任意）														●						
24		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の保全と持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	○		○	チャレンジ （任意）									●		●		●	●	●	●				
25	公正な 事業 慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知し、徹底している		○		基本 （必須）	○		贈収賄や不適切な便宜供与を行わない方針を社内周知し、公共・民間工事を問わず、公正で透明な取引を徹底している。															●		
26		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知し、徹底している		○		基本 （必須）	○		入札・見積・契約において法令を遵守し、不正競争や談合に関与していない。取引先との適正な関係を保ち、公正な事業活動を行っている。															●		
27		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる		○		基本 （必須）	○		図面・写真・資料・ソフトウェア等の知的財産を適切に取り扱い、無断使用や不正コピーを行わないよう社内注意喚起している。								●	●								
28		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している		○		基本 （必須）	○		顧客・取引先・社員の個人情報を適切に管理し、書類・データの保管、アクセス権限、廃棄時の取扱いを徹底している。															●		
29		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		○	○	チャレンジ （任意）																		●		
30		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	○	○		チャレンジ （任意）	○		協力会社・仕入先と安全・品質・法令遵守・ハラスメント防止等の認識を共有し、対等で継続的なパートナーシップづくりに取り組んでいる。											●	●	●	●	●	●	●
31	公正な 事業 慣行	【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/		○		チャレンジ （任意）			後継者候補がいる				●					●	●	●					●	

項目 番号		チェック項目	環境・社会・経済 分野の区分			取組 レベル	取組事項に ○をつけて ください	【非該当】の 場合 選択入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール）関連項目																
			環境	社会	経済					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																										
32	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している			○	基本 （必須）	○		施工前の確認、施工中の検査、完成時の社内確認を行い、安全で安心して利用できる建物・土木構造物・住宅の提供に努めている。			●							●							
33		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している			○	基本 （必須）	○		施工計画、品質管理、写真管理、検査対応を徹底し、発注者・顧客の要望に沿った品質確保に取り組んでいる。引渡し後の相談にも対応している。									●								
34		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	○		○	チャレンジ （任意）	○		省エネ住宅、断熱性能向上、既存建物の改修・長寿命化、解体時の分別処理など、環境負荷を抑える提案・施工に取り組んでいる。						●				●	●	●	●				
35		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		○	○	チャレンジ （任意）	○		空き家・既存建物の活用、災害に強いインフラ整備、住宅改修など、地域の暮らしと安全に関わる課題解決につながる事業を行っている。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
36	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している		○	○	基本 （必須）	○		工事による交通・騒音・粉じん・安全面への影響を事前に確認し、近隣説明・安全誘導・清掃等を行い、地域への影響低減に努めている。				●					●		●	●		●			
37		【社会貢献活動】 ・寄付、地域活動への参加など持続的な社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		○	○	チャレンジ （任意）	○		地域行事への協力、清掃活動、職場体験の受入れ、社内外への情報発信を通じて、地域とのつながりづくりに継続的に取り組んでいる。				●					●		●	●		●			
38		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している		○	○	チャレンジ （任意）	○		地元人材の採用、地域事業者との取引、地域材・地域資源の活用を行い、地域経済の循環に貢献している。								●	●	●							
39	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している		○		基本 （必須）	○		経営方針や重点目標を会議・朝礼・社内報等で共有し、各部署が同じ方向を向いて業務改善や人材育成に取り組めるようにしている。								●	●						●		
40		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している		○		基本 （必須）	○		建設業法、労働安全衛生法、下請法、個人情報保護等の法令を遵守し、社内に必要な情報共有と確認を行っている。														●			
41		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している		○		基本 （必須）	○		SDGsや安全衛生、労務、環境配慮に関する取組を総務部・各部門で確認し、必要に応じて経営陣へ報告・相談する体制としている。														●			
42		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）		○		基本 （必須）	○		顧客、発注者、協力会社、地域住民、社員との対話を通じて要望や課題を把握し、工事対応・社内改善・地域貢献に反映している。														●	●		
43		【DXの推進】 ・デジタル技術を積極的に活用し、職員等の業務効率化や生産性向上に積極的に取り組んでいる		○	○	基本 （必須）	○		写真管理、図面共有、クラウド、SNS・動画活用、会議資料のデジタル化等により、業務効率化と情報共有の向上に取り組んでいる。			●					●	●								
44		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、職場安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している		○		チャレンジ （任意）	○		事故・災害・法令違反・労務トラブル・情報漏えい等のリスクを把握し、安全会議や社内会議で対策を確認している。														●			
45		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		○		チャレンジ （任意）	○		安全大会・安全朝礼・KY活動・現場ハザロール等を通じて、社員および協力会社の安全意識向上と事故防止に努めている。														●			
46		【事業継続】 ・過去の地震や水害などを教訓として事故や災害、さらにサイバー攻撃などの発生における事業継続計画を立案している		○		チャレンジ （任意）	○		災害時の連絡体制、重要データの保全、応急対応、復旧対応を確認・共有し、地域インフラを担う企業として事業継続力の向上に取り組んでいる。									●		●	●		●			
47		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		○		チャレンジ （任意）	○		後継者候補がいる								●	●						●		

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のもであっても、その取組の「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、【予定】と補記してください。）
・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、「チェック項目」に関する具体的な取組を記載してください。